

百人おどし

こんな実験です

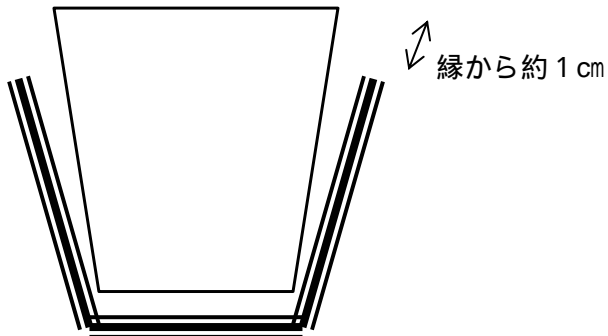
ライデン瓶という静電気をためる装置をつくって、ぴりっとする静電気を体験してみましょう。
1億分の1秒間くらいしか電気が体の中を通らないので安心です。

準備するもの

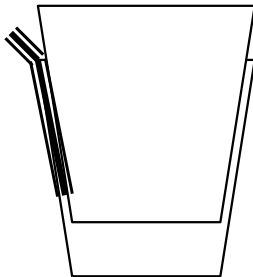
<材料> プラスチックコップ2個, アルミホイル

<用具> はさみ, 下敷き(静電気を起こせるもの), 毛糸(静電気を起こせるもの)

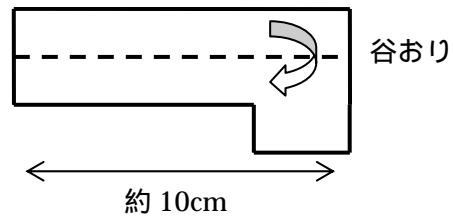
作り方



2個のプラスチックコップの外側に, それぞれアルミホイルをまく。



2個のプラスチックコップの間にアルミホイルの帯の細いほうを入れて重ねる。



アルミホイルをはさみで絵のように切り, 帯をつくる。



帯の太くなっている部分が出ないようにすると, ライデン瓶の完成です。

やり方

下敷きを毛糸でこすり静電気を起こします。

1人がライデン瓶を片手で持ち, 他方の手で隣の人と手をつなぎます。

他の人たちは隣同士で手をつなぎひとつの輪をつくります。

ライデン瓶を下敷きに近づけ静電気をためます。

他方の隣の人にライデン瓶のアルミホイルの帯をつまんでもらいます。

…ぴりっ! (約1万ボルトの電圧の電気が体の中を通りました。)

気を付けようね

ペースメーカーを使っている人や心臓の弱い人は, この実験を行わないでください。